

令和6年度 環境科学部 環境デザイン学科
学校推薦型選抜 総合問題

〔注 意〕

- 1 机上に受験票を提示しておくこと。
- 2 監督者の指示があるまで、この冊子を開いてはいけない。
- 3 解答は必ず別紙の解答用紙の指定された箇所に記入すること。
- 4 解答用紙に受験番号および氏名を必ず記入すること。
受験番号・氏名が記載されていない答案は無効となる場合がある。
- 5 この冊子は、余白を入れて問題（17 ページ）および解答用紙（7 枚）からなっている。
- 6 満点は 200 点である。
- 7 この冊子のうち、落丁・乱丁または印刷不鮮明な箇所があれば、手をあげて申し出ること。
- 8 字数制限のある解答では、句読点やカッコ、数字はそれぞれ 1 字として数える。
- 9 問題冊子は持ち帰ること。
- 10 試験時間中の退室は認めない。

1 次の文章を読み，以下の問 1 から問 3 に答えよ。(100 点)

(著作権の関係で不掲載)

(著作権の関係で不掲載)

(著作権の関係で不掲載)

出典：芦原義信『街並みの美学』岩波現代文庫，2001 年（初出は 1979 年。ただし，出題の都合により原文の一部を変更している）

注 1) 石や煉瓦などのブロック状のものを積み重ねて建物を組み立てる方法。

注 2) 柱や梁などの軸状の木材を用いて建物を組み立てる方法。

注 3) 木製の板を幅方向に繋げて壁を構成する方法。

注 4) スズランの花をかたどった街灯。

問1 空欄（ A ）に当てはまる数字を求め、有効数字2桁で答えよ。ただし、考え方および計算の過程を計算欄に示しなさい。

問2 空欄（ B ）に当てはまる最もふさわしい語句を答えよ。

問3 「第一次輪郭線」で街並みが決まる西欧的建築の特徴と、「第二次輪郭線」で街並みが決まる日本的建築の特徴を著者はどのように述べているか。それぞれ100字以内で説明せよ。

問4 著者の芦原義信はこの著作の最後に、靴を脱ぐことによって生じる「床」への価値観が街並みにも影響を与えているのではないかという考えを述べている。あなた自身は靴を脱ぐという生活がどのように建築の輪郭に影響を及ぼすと考えるか、建築の境界線としての「壁」と室内空間としての「床」に着目して400字以内で述べよ。

余 白

2 次の文章を読み、以下の問 1 と問 2 に答えよ。下線を引いた語句には、末尾に訳語を掲載している。(50 点)

(著作権の関係で不掲載)

(著作権の関係で不掲載)

(著作権の関係で不掲載)

出典： *The Asahi Shimbun*, January 5, 2023 (ただし、出題の都合上、原文の一部を変更している。)

注) boasted：誇った, earthenware：土器, Nakanoya Matsubara：中野谷松原, Annaka：安中, Sannai Maruyama：三内丸山, Yutaka Daikuhara：大工原 豊, excavated：発掘した, attributes：特性, cited：挙げた, alterations：改変, outward：外側, cherished：大切にする, unearthed：出土した, shards：かけら, reinforced：補強された, vessels：器, rigidly：かたく, adhered：貫かれていた, thrived：繁栄した, cylindrical：円筒形の, vulnerable：貧弱な, likened：なぞらえる, asset-inflated economy：バブル経済

問1 上記文章を 400 字以内（日本語）で要約せよ。

問2 文中の【④】を現代日本の社会や生活の環境において考えるならどんな状況や課題があり、また、今後どのようなことが望まれると思うか。【④】に加えて、【①】～【③】にある語句を日本語で用いながら、300 字以内（日本語）で具体的に論じよ。なお、【①】～【④】にあたる語句を日本語で用いた部分には下線を引き、①～④の記号を記すこと。

余 白

3 図1～5は、空き家の管理不全が社会問題を引き起こしているという認識のもと、国土交通省住宅局が行った調査結果の一部である。なお、ここで「空き家」とは、「居住世帯のない住宅」のことである。以上をもとに、問1と問2に答えよ。

解答文では、「図1によると～」などのように、解答に用いた図番号をその都度必ず引用すること。また、各図から得られた数値（割合等）のうち、解答に必要と思われるものは適宜記すこと。（25点）

問1 空き家の利用現況に着目して、建築時期別の傾向の特徴について述べ、また、そこから予想される今後の空き家の動向として最も特徴的だと思われる事柄を、合わせて300字以内で説明せよ。

問2 現在発生している空き家の特徴と、空き家となっている理由を、図1～5の内容を互いに関連付けて主要な傾向を理解した上で、空き家の管理不全による社会問題の解決法に関するあなたの考えを、合わせて600字以内で論じよ。

図出典：「令和元年空き家所有者実態調査 報告書」（国土交通省住宅局）（ただし、出題の都合上、原図の一部を変更している。）

注1) この調査は、全国の空き家所有者から無作為に抽出された世帯（ただし、最近大規模な自然災害の被害を受けた地域の世帯を除く）を対象に行われたものである。調査対象数は11,580件で、有効回答数は5,791件であった。

注2) 図1～5の図中にある総数 n は、主たる質問（図1であれば空き家の利用現況）に対して回答があった世帯数を示す。

注3) 図1～3の図中にある総数 n と、グラフ中の各項目の n の和は一致しない場合がある。

注4) 図4と図5は複数回答式の質問に関する調査結果である。

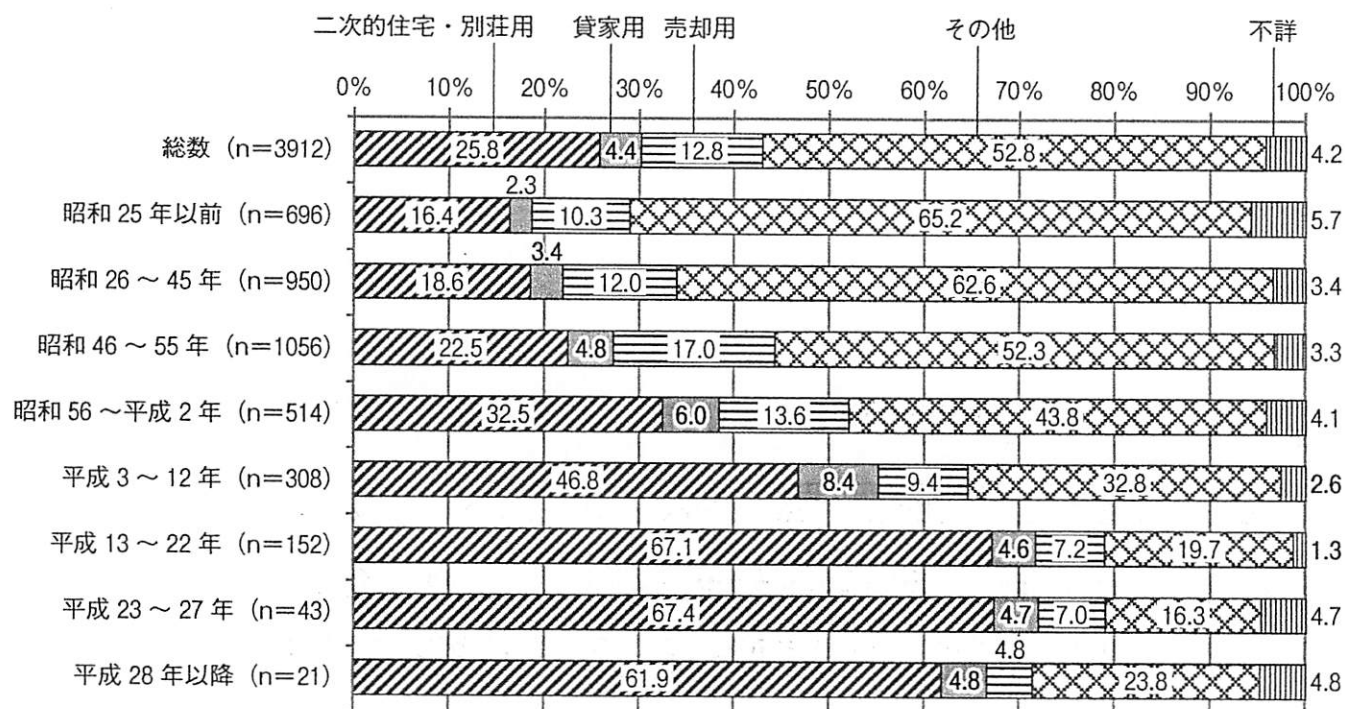


図1 空き家の利用現況（総数・建築時期別）

注5) 「二次的住宅」とは、残業で遅くなったときに寝泊まりするなどたまに利用する住宅のことを指す。

注6) 「その他」には、以下のような住宅が含まれる。①リフォームまたは建て替え予定のため利用していない、②取り壊し予定のため利用していない、③転勤・入院などで居住者が長期不在だが将来戻る予定のため物置として利用、④上記以外の物置として利用、⑤その他、など。



図 2 空き家の今後の利用意向 (総数・建築時期別)

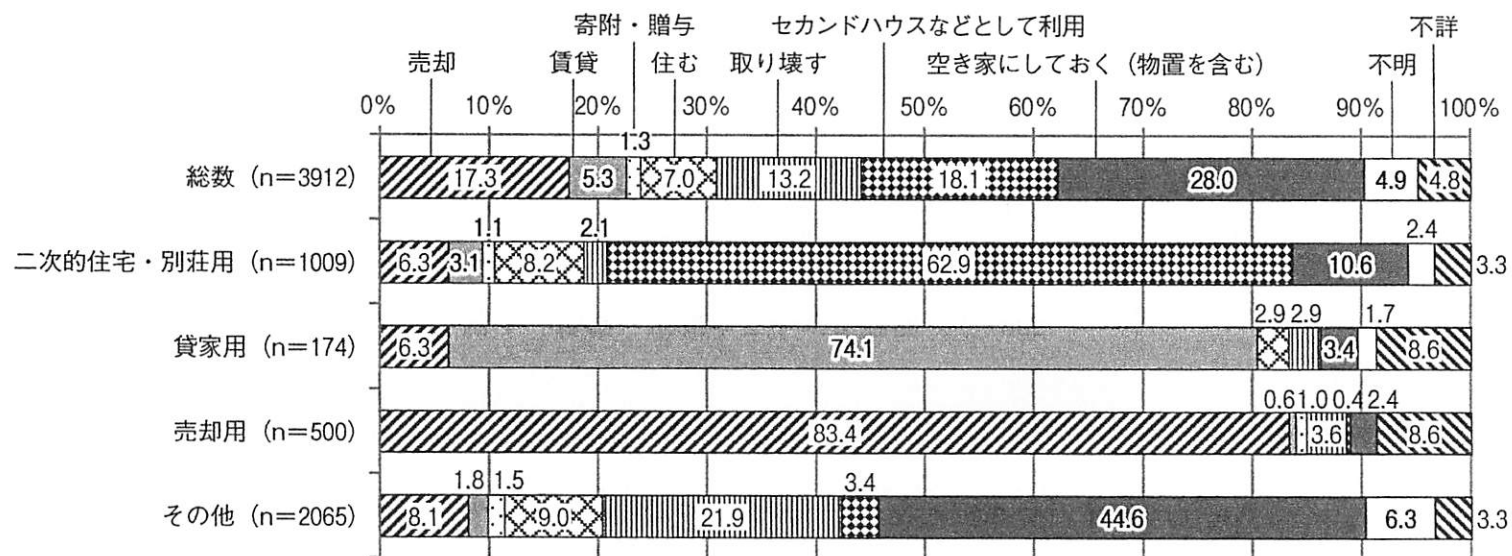


図3 空き家の今後の利用意向（総数・利用現況別）

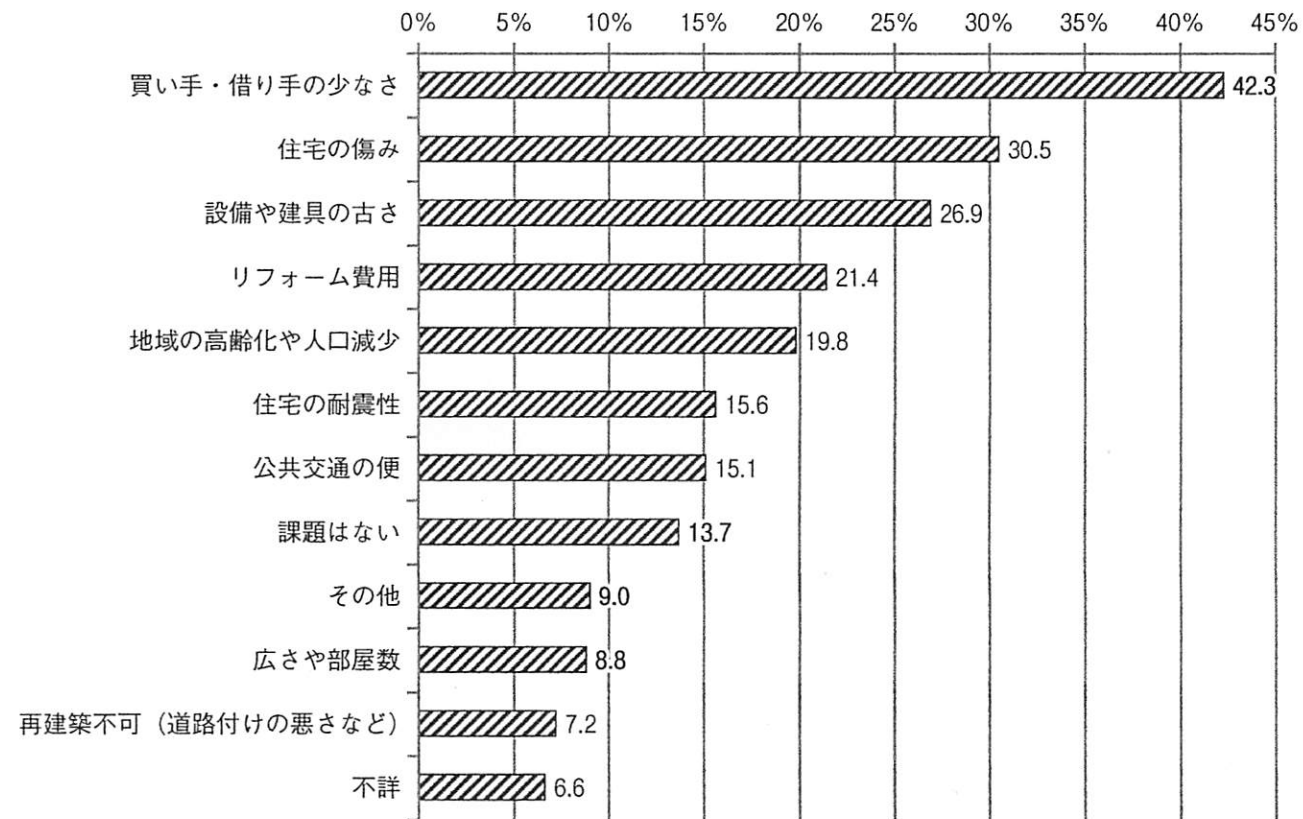


図4 賃貸・売却する上での課題 (n=885)

注7) 「再建築不可」とは、敷地が法律の基準を満たしていないため、新築（建て替え）が不可能であること。

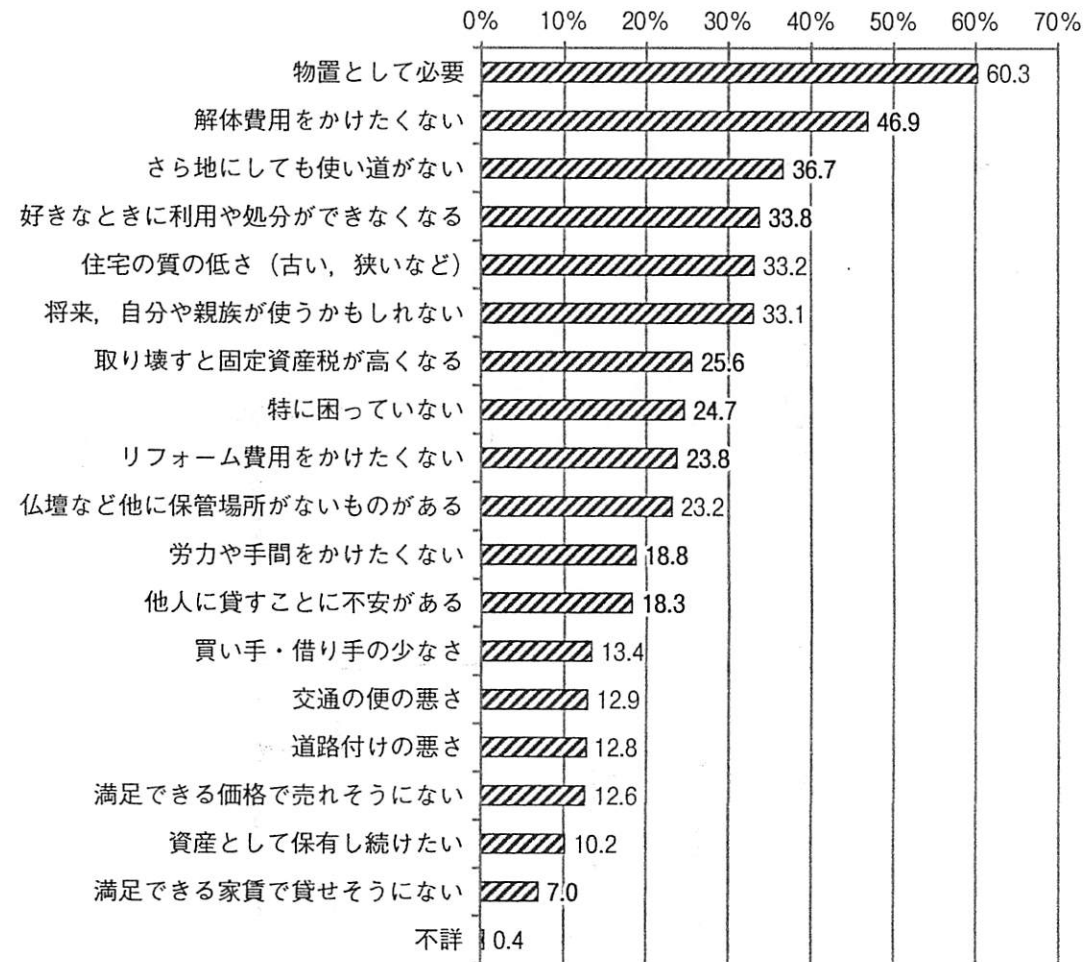


図5 空き家にしておく理由 (n=1,097)

4 図 1 に関する以下の問 1 と問 2 に答えよ。(25 点)

(著作権の関係で不掲載)

図 1 公営住宅 51C 標準設計平面図

出典：鈴木成文『五一 C 白書』住まいの図書館出版局，2006 年（ただし，出題の都合により原図を一部改変し描き直した。）

問1 この住宅室内の面積を求めよ。ただし、室内とは図面上の次の6点、X1とY1の交点、X1とY3の交点、X3とY3の交点、X3とY2の交点、X4とY2の交点およびX4とY1の交点、で囲まれる領域とし、有効数字2桁で概算しなさい。また、考え方および計算の過程を計算欄に示しなさい。

問2 この図面は住宅不足解消のための施策の一端として1951年に供給された51Cと呼ばれる型の公営住宅の標準型のひとつであり、間取りは「2DK」と表される。1950年前後の生活様式の変化を考慮しながら、住居としての機能の特徴を200字以内で説明せよ。

令和6年度 環境科学部 環境デザイン学科 学校推薦型選抜

総合問題 正誤表

問題

1 2ページ

文章：下から5行目

誤：「 18° では $\tan 18^\circ = 3$ で3メートル」

正：「 18° では $1/\tan 18^\circ = 3$ で3メートル」